

議員提出議案第 36 号

「すまむに」の普及促進に関する宣言決議

このことについて、石垣市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出いたします。

令和 6 年 12 月 16 日

提出者	長	浜	信	夫
賛成者	宮	良		操
〃	砥	板	芳	行
〃	箕	底	用	一
〃	井	上	美智子	
〃	花	谷	史	郎
〃	後上里	厚	司	
〃	内	原	英	聡
〃	大	道	夏	代
〃	登野城	このみ		
〃	田	盛	英	伸

石垣市議会

議長 我喜屋 隆次 殿

理 由

先達から脈々と伝えられてきた貴重な「すまむに」を継承し、一層の関心と理解を深め普及促進を図るため。

「すまむに」の普及促進に関する宣言決議

本県各地域には、様々な「すまむに」が先達から語り継がれ、それぞれ多様な文化を形成しております。八重山圏域においても島唄や舞踊はじめ、地域の伝統行事等で「すまむに」は欠かすことのできない重要な言語であり、大きな役目を持った意義ある奥深い表現であります。本県においては、日本本土とは異なる言語文化圏を形成することから、ユネスコの世界文化遺産に指定された琉球組踊をはじめ、県内各地域の特色ある独自の郷土文化が脈々と受け継がれ伝承されてきました。このように地域ならではの郷土文化の支えと土台になるのが「すまむに」であることは周知のとおりであります。

「すまむに」は各地域暮らしの中で語り継がれ、愛着を持って使われてきたことばであり、地域の多様な固有の文化遺産であります。しかしながら、「すまむに」は過去の標準励行教育のなかで使用禁止された歴史があり、近年、話すことはもとより聞くこともできない世代が多数となっている昨今の現状であります。そのことから、地域の貴重な言語文化の喪失に繋がりがねないと危惧されています。特に、八重山圏域の「すまむに」は、ユネスコの絶滅危惧言語になっており極めて深刻な現状にあります。

平成18年県議会は、「しまくとうば」を次世代へ継承していくため、「しまくとうばの日に関する条例」を制定し、9月18日を「しまくとうばの日」に定めております。私たちは、先達から脈々と伝えられてきた伝統文化の基層となる「すまむに」の価値と重要性を再認識すると共に、自信と誇りを持ち次世代へ継承していく責務があると考えます。

よって本議会は「すまむに」の普及促進を図り、市民一人ひとりが「すまむに」に対する関心と理解を深め、生活の中で「すまむに」に親しめるよう努力することを宣言します。

以上、決議します。

令和6年12月16日

石垣市議会